

# 長崎市版キャリア教育について

## 1 総合教育会議におけるキャリア教育に関する議論の経緯

平成 29 年度第 2 回（H30. 3 月）、平成 30 年度第 1 回（H30. 6 月）、第 2 回（H30. 9 月）の総合教育会議において、キャリア教育をテーマとして意見交換を行ってきた中で、長崎市におけるキャリア教育の考え方について次のとおり取りまとめた。

- (1) 平成 29 年度第 2 回長崎市総合教育会議（H30. 3. 20 開催）
  - ・長崎市教育委員会におけるキャリア教育についての報告  
キャリア教育の考え方  
キャリア教育推進事業の取組状況と課題
- (2) 平成 30 年度第 1 回長崎市総合教育会議（H30. 6. 1 開催）
  - ・長崎市におけるキャリア教育への取組み状況等について意見交換
- (3) 平成 30 年度第 2 回長崎市総合教育会議（H30. 9. 20 開催）
  - ・これまでの総合教育会議で出された意見を基に、長崎市におけるキャリア教育の考え方について取りまとめ

### 【総合教育会議におけるキャリア教育の考え方】

長崎のまち（社会）を支える「担い手」を育てていくため、学校、家庭、地域が一体となって、児童・生徒に様々な価値観や生き方を学ぶ機会を提供することにより、児童・生徒が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力やグローバルな視点を身に付けるとともに、長崎のまちを愛する気持ちと、それを行動に移す力を養う教育。

## 2 長崎市版キャリア教育の今後の展開について

行政だけでなく、学校・家庭・地域が一体となって「まちを支える担い手を育てる」ことに取り組むという総合教育会議における長崎市版キャリア教育の考え方は、

- ・よかまちづくり基本条例の「長崎のまちをみんなでつくる」、「自分たちのまちは自分たちでよくする」
- ・第四次総合計画の「G1－3学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります」
- ・長崎市教育大綱の基本理念の「長崎の未来を創るひとづくり」

と同じ方向性であり、これまでもこれらの方向性に沿って様々な事業に取り組んできた。

今後はそれぞれの事業主体が同じ方向を向いて、意識を持って取組みを進めていくため、総合教育会議におけるキャリア教育の考え方である「社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力」、「グローバルな視点」、「長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力」の3つの資質・能力とそれを身に付けるための要素を「長崎市版キャリア教育」として体系付ける。

また、子どもたちが身に付けるべき力を適切に高めることができるよう子どもの発達段階に応じて事業に取り組むことで、長崎市版キャリア教育を推進することとしたい。

⇒「長崎市版キャリア教育」に係る体系図参照

## 3 「長崎市版キャリア教育」の名称について

学校・家庭・地域への浸透を図るため、「長崎市版キャリア教育」に名称を付すこととしたい。

名称アイデア

- ・「長崎<sup>にな</sup>担<sup>ひと</sup>い人教育」
- ・「ナガサキリーダーズ」
- ・「長崎の担い手づくりプログラム」